

平成19年度 薬学研究科修士課程選抜入学試験問題

科目番号	科目名	問題枚数	受験番号	氏名
14	分子薬理学	No. 1 2枚		

問1 てんかん及び抗てんかん薬に関する次の記述の空欄を、最も適切な語句で埋めなさい。なお、空欄を埋める語句として、英語や一般的になっている略語を用いても構わない。受容体名は、明らかにされている最も詳細なサブタイプで答えること。答は解答欄に記入すること。(20点)

てんかんは、 1) ニューロンの過剰な発射の結果起こる反復性発作(てんかん発作)を主徴とする慢性の脳障害である。発作が起始する部位により 2) 発作と部分発作に大別され、病因的には特発性と 3) 性に分けられる。以前、大発作及び小発作と呼ばれていた病態は、最近はそれぞれ強直間代発作及び 4) 発作と呼ばれている。

抗てんかん薬には、①： 5) の代謝を抑制して、内因性抑制性機序の増強を図るか、または 6) 受容体機能を促進することで外因性に同様の効果を得ようとする薬物と、②：陽イオンチャネルを抑制することで、神経活動を抑制する薬物とがある。②には、活動電位のスパイク形成に関与する 7) チャネルを抑制する薬物のほか、 8) チャネルや K^+ チャネルを抑制するものがある。主として①の作用機序で奏効する薬物に 9) が、また主として②の作用機序で奏効する薬物に 10) がある。

【解答欄】

1)	2)	3)
4)	5)	6)
7)	8)	9)
10)		

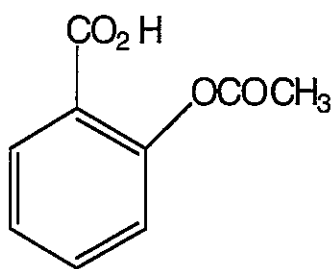
採点	
----	--

[]

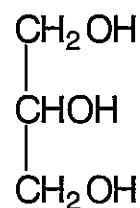
平成19年度 薬学研究科修士課程選抜入学試験問題

科目番号	科目名	問題枚数	受験番号	氏名
14	分子薬理学	No.2 2枚		

問2 A及びBは、いずれも臨床で使用されている医薬品の化学構造式である。一般名と適用される疾患名（一つでよい）及び用法（簡潔に）を答えなさい。答は解答欄に記入すること。（10点）



A



B

【解 答 欄】

	一般名	疾患名及び用法
A		
B		

採点	
----	--

[]